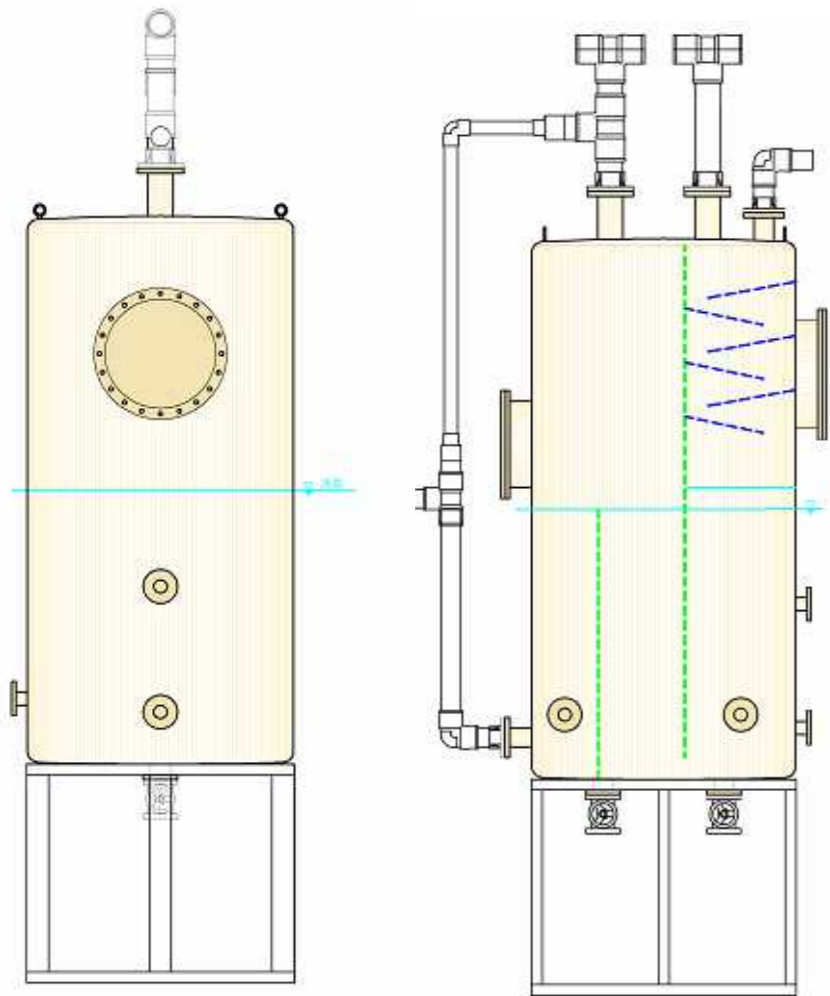


新型ガスセパレーター (DGS - 2009)

改正温泉法対応型

実用新案特許出願済み
実願 2009-706

メタンガスをダブルで除去 ! 二槽式セパレーター 一つで二つ分



6枚の分散板が効率良くガスを除去します



一次槽でほとんどのガスを分離し、さらに二次槽で再度ガスを分離します。
また、分散板は10mm穴と20mm穴の二つのタイプがあります。
食塩泉までは10mm穴を強塩泉では、20mm穴をご使用下さい。
仮にスケールで分散板の穴が閉塞しても、温泉水がガス排出口から吹き出すことはほとんどありません。

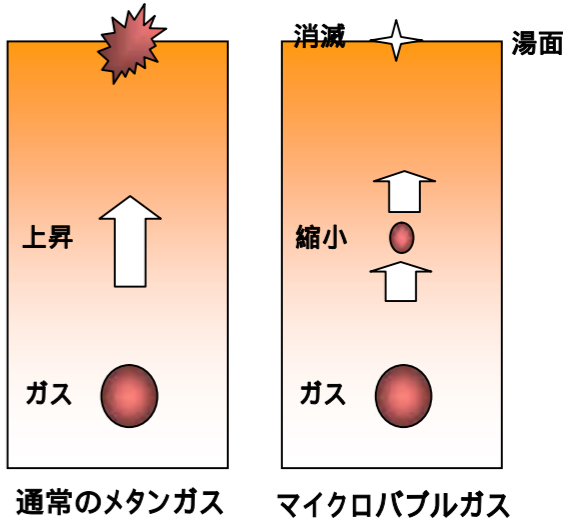


ガスセパレーター仕様

タンク内径 (mm)	1,200
タンク内面高さ (mm)	2,500
内容物最高液面 (mm)	1,250
内容物容量 一次槽 (ℓ)	約580
内容物容量 二次槽 (ℓ)	約830
内容物	水、温泉水
タンク本体材質	FRP 内面: イソ系ポリエステル樹脂 外面: 耐食ビニールエステル
タンク胴板厚 (mm)	5 (全面同一)
使用温度 (°C)	60
重量 (kg)	120

マイクロバブルガスにも対応

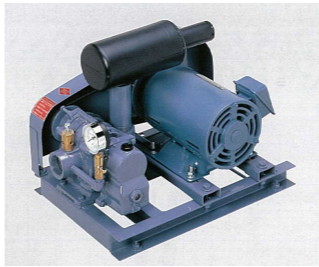
マイクロバブルとは気泡の直径が10マイクロメートル (1/100mm) ~ 数十マイクロメートルの微細な気泡のことをいいます。
これまでの調査で、マイクロバブルガスは滞留時間を長くしたり (ガスセパレーター容量増)、攪拌をおこなってもあまり効果がないことが明らかになってきました。
このため、マイクロバブルガスがゆう出している温泉井では、ガスセパレーターを設置しても、可燃性ガス濃度が基準値内とならないケースが数多く発生しています。
特に、測定方法がヘッドスペース法の場合、基準値を超える可能性が高くなっています。
新型ガスセパレーター (DGS - 2009) は、一次側の取り付け口からブローポンプ (オプション) でエアレーションを行って、マイクロバブルガスを除去します。



DGS - 2009の特徴

ポイント	性能	二槽式	従来のガスセパレーター二つを一つにしました
	特徴	大容量	一つで二つ分の容量 1,410ℓの貯留
		分散	6枚の分散板がガス分離効率を高めます
特徴	耐腐食	FRP製だから耐腐食・耐薬品に優れています	
	低価格	従来品に比べ大容量で低価格となっています	

オプション品



ブローポンプ



凍結防止用 電熱ヒーターモ付